

事務事業名	観光施設整備事業	事業期間	~	年度	係内番号	03
担当部署	産業経済部	観光まちづくり推進課	観光係		連絡先	422

政策番号	04	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称				実行計画の施策の柱における指標との関連度	高			
			基本計画①	01	産業振興ビジョン	#N/A									
			基本計画②	01	産業振興ビジョン	#N/A									
			実行計画	05	観光振興ビジョン	0504	観光まちづくりと連動した観光環境整備の推進								
予算事業名	観光施設整備費				会計コード	01	款	07	項	01	目	05	事業	06	
事務事業の概要 (簡単にわかりやすく)	4エリアごとの特徴を生かした観光施設整備を行うとともに、観光客が、気持ちよく安全に満喫できる施設整備を行う。 ・八ヶ岳エリア・・・登山道整備、トイレ整備、駐車場の整備 ・白樺湖・車山エリア・・・白樺湖遊歩道・公衆トイレ・駐車場整備、車山観光施設整備 ・蓼科エリア・・・蓼科湖遊歩道、公衆トイレ及び拠点となる道の駅の整備 ・縄文の里エリア・・・晴ヶ峰観光施設の整備														
現状と背景 (どうして)	八ヶ岳エリアは、登山ブームにより登山者が増加し、安全な登山道の整備求められている。 ・白樺湖エリアは、ジョギングロードが整備され、アスリート向けにはPRになるが、一般向けについては、周辺施設の老朽化が進んでいる。 ・蓼科エリアについては、蓼科高原の核となる蓼科湖周辺を整備し、今後は暖かいの創出が必要となってくる。 ・縄文エリアは、晴ヶ峰観光施設へ案内所機能の整備が求められ、峠の茶屋を中心とした周辺の施設整備が必要となってくる。														
目的	対象	受益者 (誰のために)	市民、観光客、登山者												
	対象	図 (直接働きかける)	同上												
	意	図 (どんな状態にしたいか)	・八ヶ岳エリア・・・初心者からエキスパートまで安全に、快適な登山が楽しめるように整備する。 ・白樺湖・車山エリア・・・駅伝合宿による知名度向上により、アスリートだけでなく一般客が集う白樺湖を目指す。 ・蓼科湖エリア・・・蓼科湖に集客の核となる道の駅を整備し、活気ある蓼科を取り戻す。												
手段・方法 (どうやって)	自然環境整事業、パイロット事業を活用し、整備の遂行を図る。また、地域の関係者等と連携を図った観光まちづくりを推進する。 ・八ヶ岳エリア・・・登山道整備工事、トイレ整備工事の実施 ・白樺湖・車山エリア・・・白樺湖遊歩道整備工事、白樺湖公衆トイレ整備、合宿誘致活動 ・蓼科湖エリア・・・蓼科湖遊歩道整備工事及び道の駅構想の推進、御射鹿池公衆トイレ整備 ・縄文の里エリア・・・峠の茶屋で営業している業者と整備計画の検討及び整備を行う。														
評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名稱	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値						
	1	観光施設整備	観光施設整備件数	件	観光施設の合計整備件数				5						
	2	外国語標記の看板の設置	外国語標記の看板の設置件数	件	外国語標記の看板の合計設置件数				10						
	3														
	変更履歴														
成果指標	成果指標	成果・効果は何?	指標名稱	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値						
	1	ジョギングコース利用者数の増加	延利用者数	千人	8ヶ月×30日×100人=24,000				24						
	2	蓼科湖観光客数の増加	延利用者数	千人	365日×3000人=1,000,000				1,000						
	変更履歴														

事務事業名	観光施設整備事業	事業期間	~	年度	係内番号	03
担当部署	産業経済部 観光まちづくり推進課	観光係		連絡先	422	

事務事業名	観光施設整備事業		事業期間	~	年度	係内番号	03
担当部署	産業経済部		観光まちづくり推進課		観光係	連絡先	422

事後評価（C-H-E-C-K）	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	～成変果	白樺湖エリア・蓼科湖エリアそれぞれへの来客数に対して、ジョギングコース・蓼科湖への来客が大幅に少ない状況になっている。	蓼科湖道の駅を整備したことで蓼科湖へ立ち寄る人が増えている。			
	動指要標					
	因分					
	～分析					
	成 果	来客数は目標数に達していないものの、蓼科湖エリアでは駐車場整備により駐車台数が増加した。	来客数は目標数に達していないものの、蓼科湖エリアでは道の駅来場を目的に立ち寄る人が増加した。			
総合評価	課題	観光客のニーズを把握し、施設の整備を進めて行くことが必要である。 トイレの設置要望、遊歩道の整備、駐車場の整備など計画的に進めることが必要である。	観光客のニーズを把握し、施設の整備を進めて行くことが必要である。			
	成 果	現状維持	現状維持			
改革・改善の方向性（A-C-T）	翌々年度方向性	コスト	現状維持	現状維持		
	改 及 成 果 や 革 新 の 方 向 性	地元協会との定期的な打合せを行い観光客のニーズに合わせた改修計画を立案する必要がある。 白樺・蓼科エリアについて、整備個所の検討と年次計画の立案が必要である。	地元協会との定期的な打合せを行い観光客のニーズに合わせた改修計画を立案する必要がある。 白樺・車山、蓼科エリアについて、整備個所の検討と年次計画の立案が必要である。	近い将来、白樺湖南駐車場公衆トイレの建替えが必要。建設から30年経過。		
	改 善 の 内 策 び 容					

作成担当者	長田 勇人	長田 勇人		
最終評価責任者	北沢 政英	上田佳秋		
最終評価年月日	R1.5.17	2020年7月2日		



事務事業名	観光施設維持管理事業			事業期間	~	年度	係内番号	02
担当部署	産業経済部	観光まちづくり推進課			観光係		連絡先	423

事後評価（C-H-E-C-K）	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	～成変果動指要標因分～析	2つの活動指標について、いずれも目標通りの実績となつた。点検並びに清掃管理の頻度を守る事によって、安全で衛生的な状態を保つことができたため、苦情件数が少なく、成果指標についても目標に近い利用者数に達した。	2つの活動指標について、いずれも目標通りの実績となつた。 点検並びに清掃管理を適切に行うことによって不快感を与えず、目標に近い人數にご利用いただいた。			
総合評価	成 果	登山道、遊歩道における歩行者の安全が確保された。 公衆トイレが清潔感のある施設となつた。	登山道、遊歩道においては梅雨時の長雨や台風災害により施設が被災したが、それぞれ修繕の対応をし、歩行者の安全が確保された。 公衆トイレにおいては清潔感のある状態が保たれた。			
課題	課題	公衆トイレに関しては決められた頻度で清掃を行っていたが、ハイシーズンに利用者が集中し、苦情も発生した。利用状況に応じた対応が必要である。	登山道、遊歩道で毎年被災する箇所がある。事後対応だけでなく、排水施設の整備などの対応が必要である。 施設の老朽化が進んでいる。			
翌々年度方向性	成 果	現状維持	現状維持			
改 及 成 果 や コ ス ト の 方 向 性 の 改 善 の 内 策 び 容	コスト	現状維持	現状維持			
改 及 成 果 や コ ス ト の 方 向 性 の 改 善 の 内 策 び 容	改 及 成 果 や コ ス ト の 方 向 性 の 改 善 の 内 策 び 容	観光施設において公衆トイレの改修により観光客の満足度を上げることが最重要事項であると考えられる。 様々な施設を管理しており、用途に合わせた観光施設を最低限の維持管理費で賄える方法や工法を検討することが必要である。	雨水対策として、土のう積みや溝堀りなど、低成本で行える対策を講じる。 公衆トイレについては、外壁の塗装や鋼落としなど、低成本で行える修繕の実施が必要である。			

作成担当者	長田 勇人	長田 勇人		
最終評価責任者	北沢 政英	上田佳秋		
最終評価年月日	R1.5.17	2020年7月2日		